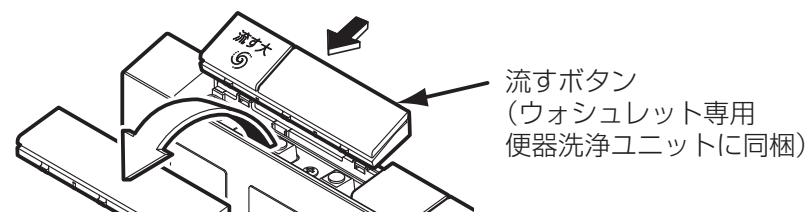


便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（密結便器前ハンドル用）

重要

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。



機種によって、便器洗浄ユニットのプラグ接続口の位置が異なります。

●施工手順 4：「ウォシュレットと便器洗浄ユニットを 配線・接続する」を必ずご確認ください。



の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 5：「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。
- 出荷時の便器洗浄モードのままでは正しく「オート便器洗浄」ができません。

TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

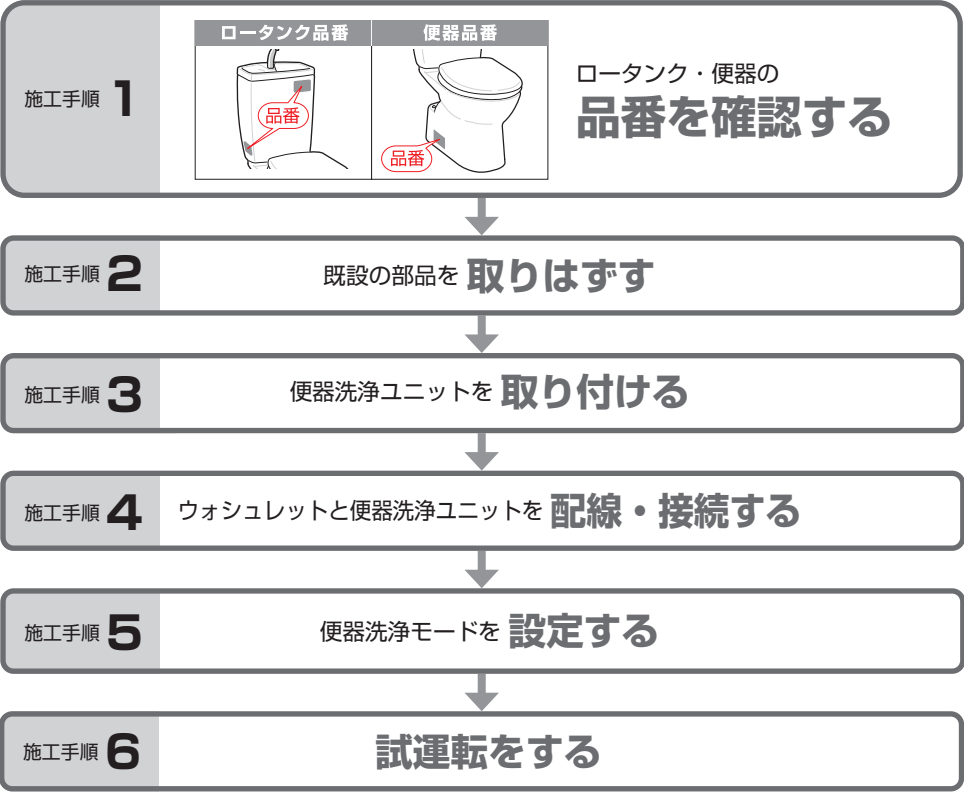


メーカー管理用です。

2025.3.12
D07125RR

施工説明書内のイラストなどは、実際の商品と異なる場合があります。

施工の流れ



施工手順 1 ロータンク・便器の品番を確認する

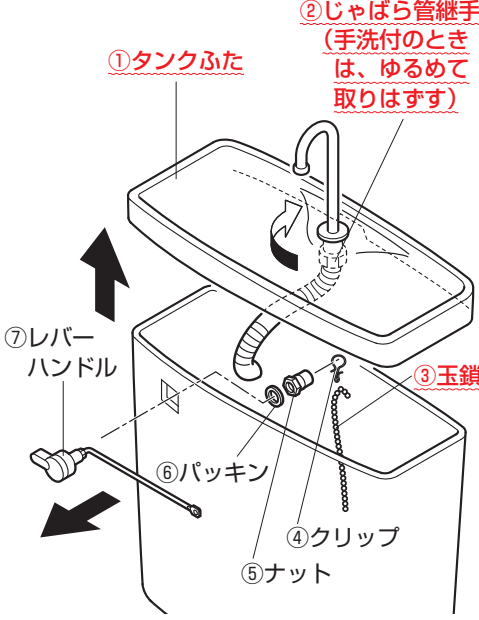
施工手順 2 既設の部品を取りはずす

ロータンク・便器一覧表	
ロータンク品番	便器品番
S710B系・S721B系	C710系・C720系

※上記品番以外の密結便器前ハンドルのものに便器洗浄ユニットを取り付けると故障する場合があります。

- 1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2 部品を取りはずす (下記参照)

【ご注意】
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。
●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを取り付ける
P.4へ

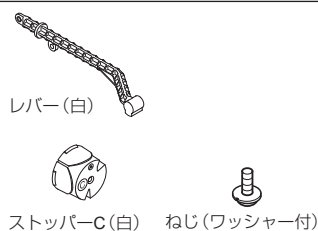
1 部品を選択する

使用部品

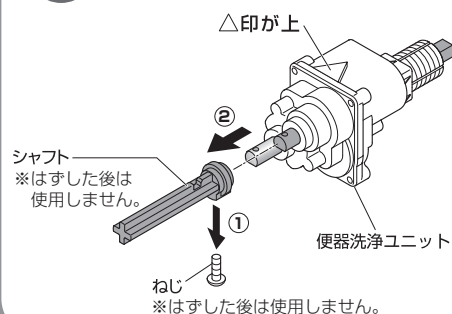


使用しない部品

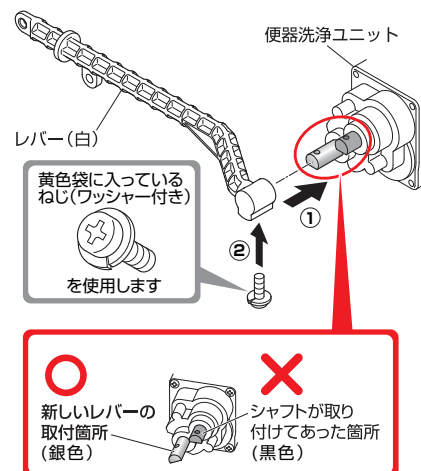
クリップ (1個)



2 便器洗浄ユニットからシャフトを取りはずす



3 便器洗浄ユニットにレバー (白) を差し込み、ねじで固定する

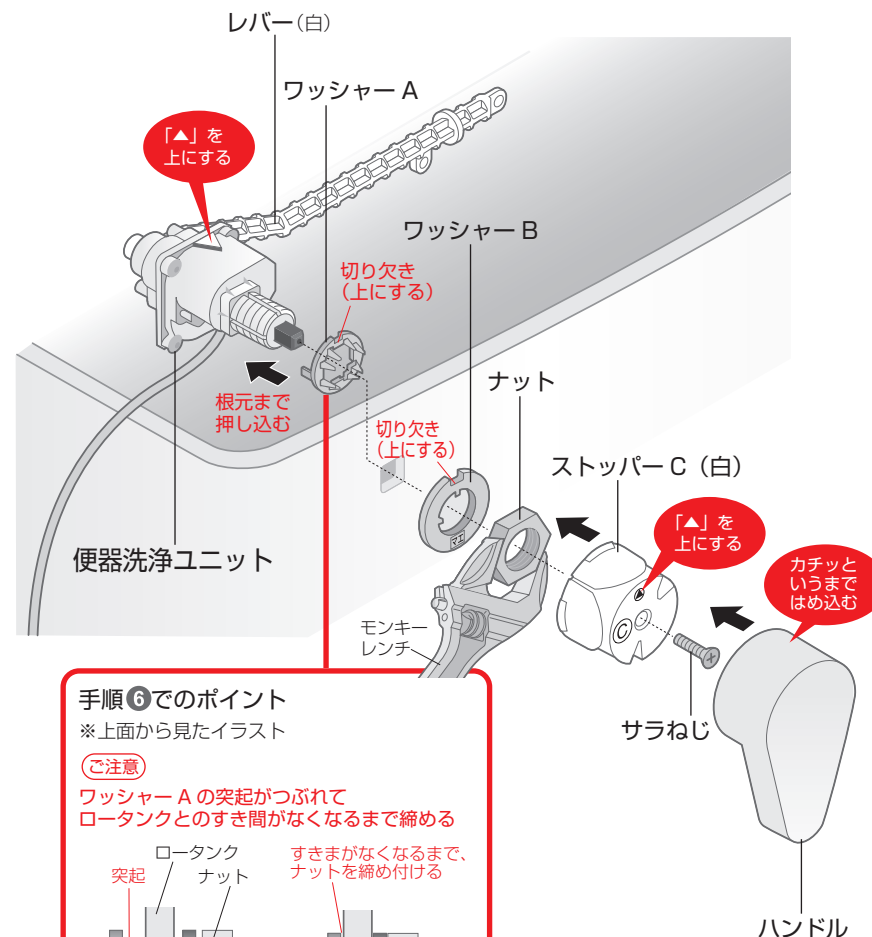


4 ワッシャー A をはめ込む

5 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む

6 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける

7 ストッパー C (白) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付ける

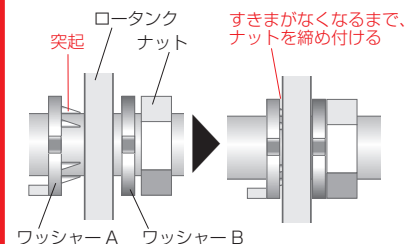


手順⑥でのポイント

※上面から見たイラスト

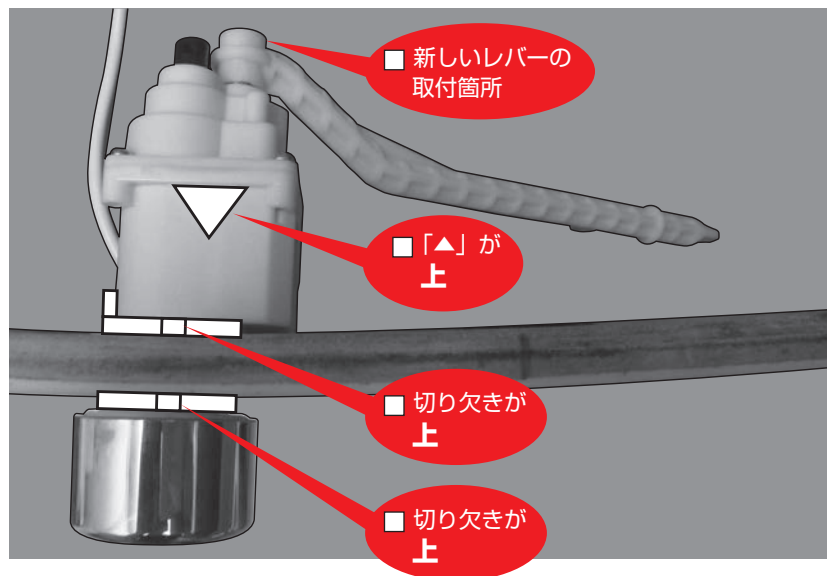
ご注意

ワッシャー A の突起がつぶれてロータンクとのすき間がなくなるまで締める



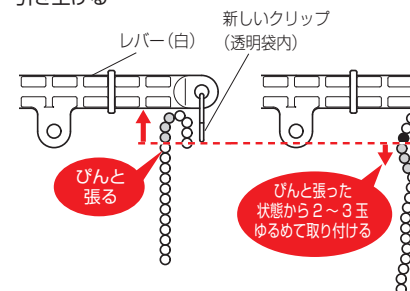
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



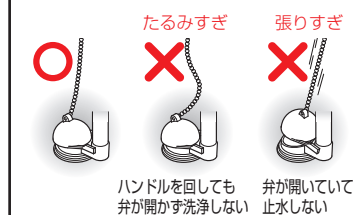
9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に 玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から 2～3 玉ゆるめて取り付ける



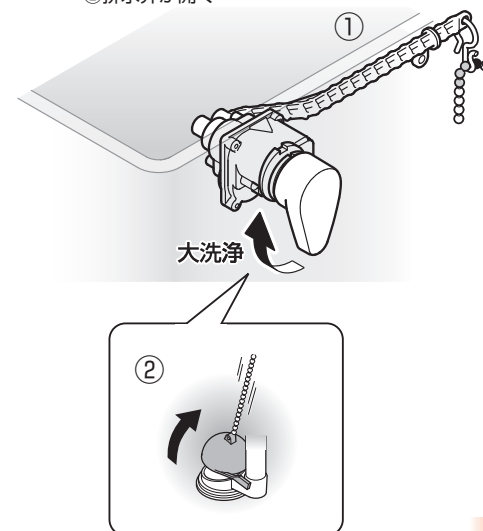
ご注意

玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。



10 ハンドルを動かして確認する

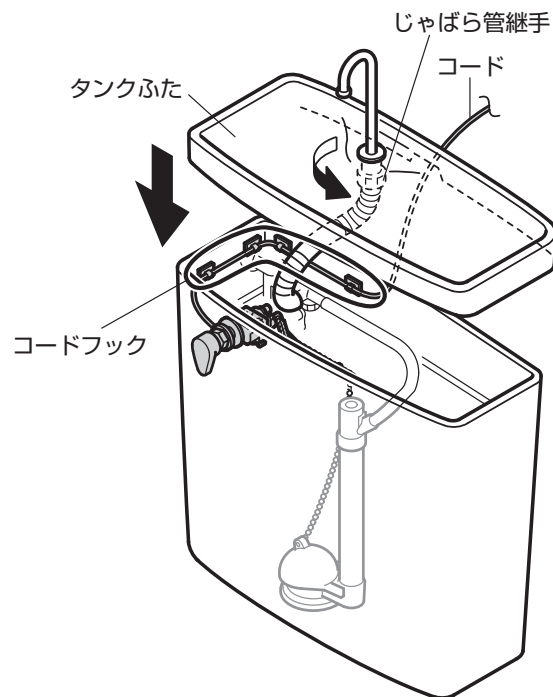
- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 排水弁が開く



施工 手順 4 ウォシュレットと 便器洗浄ユニットを 配線・接続する

コードを配線する

- 1 コードフックの貼り付け位置を決める (水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする (こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 じゃばら管継手を手洗金具にねじ込む (手洗付のときのみ)
- 6 タンクふたを取り付ける



ご注意
コードは、切欠部を通す
(ふたでコードをつぶさない)

プラグを接続する

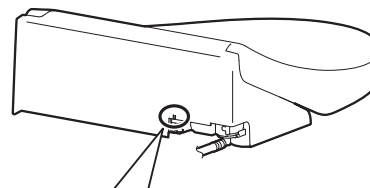
- 7 ウォシュレット本体を施工する (ウォシュレット本体の施工説明書参照)

重要

手順 8 以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

- 8 プラグ (便器洗浄ユニット) を接続する
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。
(機種によって、製品の形状が異なります。)

**プラグ接続口を確認してください。
(機種によって、接続方法が異なります。)**



ウォシュレット本体の背面の凸形状を確認

凸形状がない場合

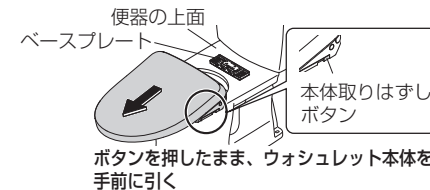
P.10へ

凸形状がある場合

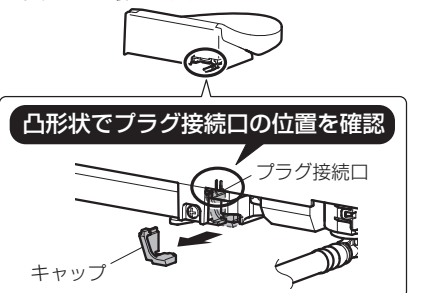
右記

ウォシュレット本体の背面に凸形状がある場合

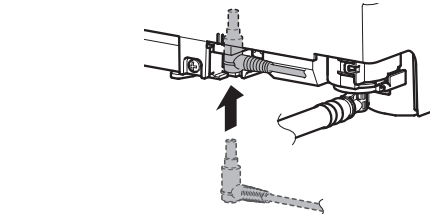
- ① 本体取りはずしボタンを押したまま
ウォシュレット本体を手前に引く



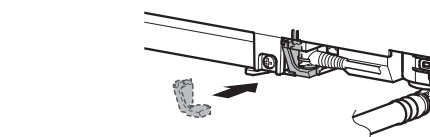
- ② ウォシュレット本体背面にある
キャップを取りはずす



- ③ プラグを根元まで確実に差し込む



- ④ キャップを取り付ける



- ⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれない
ことを確認してください。

ウォシュレットの電源プラグを
コンセントに差し込む

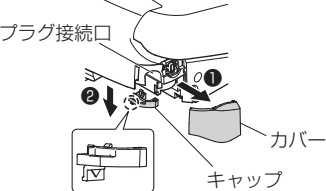
P.11へ

ウォシュレット本体の背面に凸形状がない場合

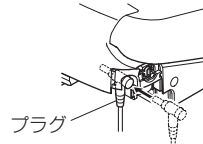
プラグ接続口が左にある場合

カバーがあるとき

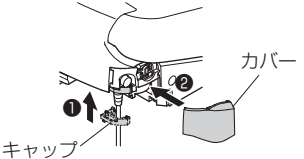
- ① カバーとキャップを取りはずす



② プラグを根元まで確実に差し込む

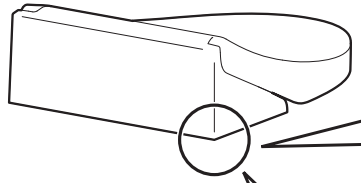


③ キャップとカバーを取り付ける



カバーがないとき

- ① 本体取りはずしボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く



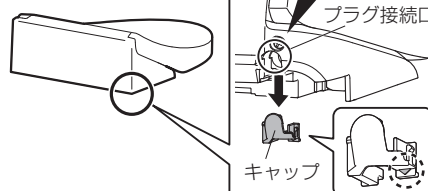
ベースプレート
便器の上面

② ウォシュレット本体背面にあるキャップを取りはずす

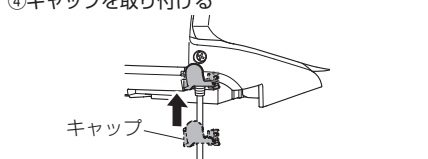


ボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引く

③ プラグを根元まで確実に差し込む



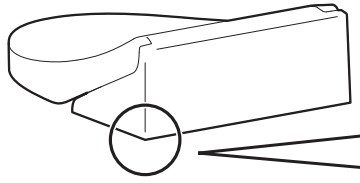
④ キャップを取り付ける



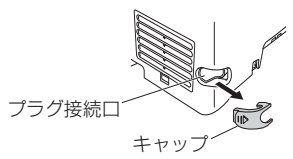
⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

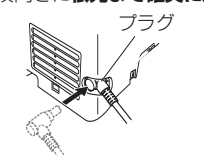
プラグ接続口が右にある場合



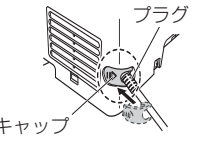
- ① キャップを取りはずす



② プラグを横向きに根元まで確実に差し込む



③ キャップを取り付ける



9 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。



の場合は P.12 へ



でオート便器洗浄機能付の場合は P.13 へ

オート便器洗浄機能無しの場合は P.14 へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する場合

ご注意
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

2 流すボタンを取り付ける
(流すボタン取付説明書参照)

重要

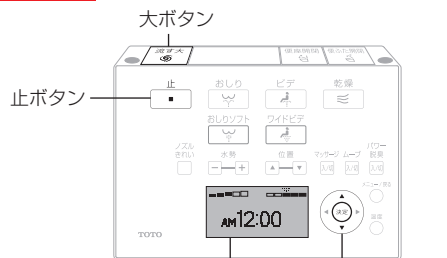
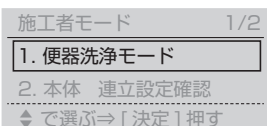
リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。

流すボタン
(ウォシュレット専用
便器洗浄ユニットに同梱)



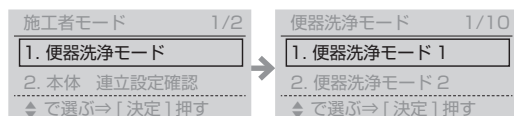
3 止 10 秒以上押す

→リモコン表示部が下図のようになります。

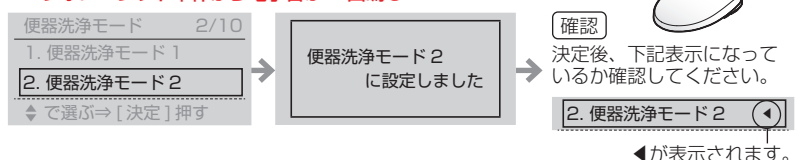


リモコン表示部 選択 / 決定ボタン
機種によっては、ボタンのレイアウトなどが異なります。

4 上下で「便器洗浄モード」を選び 決定 を押す



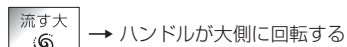
5 上下で「便器洗浄モード 2」を選び 決定 を押す
→ ウォシュレット本体から電子音が 1 回鳴る



6 止 押す → 設定完了

7 作動を確認する

※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってからもう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、
再度手順③から設定してください。

試運転をする

P.14へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する場合

でオート便器洗浄機能付の場合

ご注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

2 流すボタンを取り付ける
(流すボタン取付説明書参照)

重要

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。

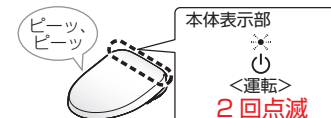
流すボタン
(ウォシュレット専用
便器洗浄ユニットに同梱)



3 止 10 秒以上押す

→リモコンのランプが全点滅します。

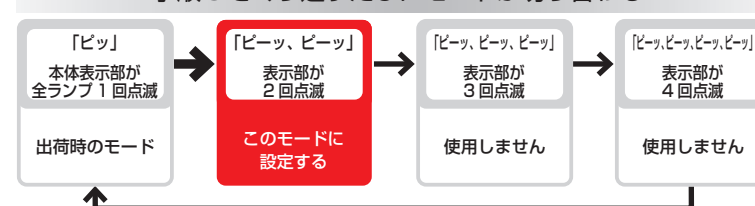
4 流す大 5 秒以上押す



5 おまかせ入/切 と パルス光入/切 同時に押す → (電子音が 2 回鳴ると同時に本体表示部 (運転) ランプが 2 回点滅することを確認する)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順④に戻り、設定しなおしてください。

手順④をくり返すたびにモードが切り替わる



6 止 押す → 設定完了

試運転をする

P.14へ

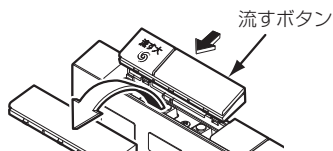
施工手順 6 試運転をする

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。

チェック □ **1** ロータンクの止水栓を開ける

チェック □ **2** 手動で便器洗浄を確認する
ハンドルを「大側」に回して、
便器洗浄を行うことを確認する

チェック □ **3** リモコンに流すボタンが取り付けられているか確認する
流すボタンの取付方法は流すボタン取付説明書を参照ください。

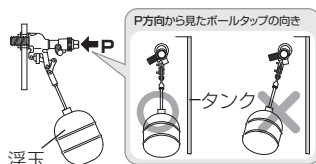


チェック □ **4** リモコンで便器洗浄を確認する
「大」のボタンを押して、便器洗浄を行うことを確認する
※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってからもう一度ボタンを押してください。

【大】→ ハンドルが大側に回転する

便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(P.15) をご覧ください。

チェック □ **5** ボールタップの作動を確認する
ロータンクのふたを開き、ハンドルを操作して、
レバーがボールタップの浮玉などに当たらないかを確認する（作動不良や止水不良の原因）
浮玉は、真下に下りるように正しく取り付けてください。



うまく動かないとき

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2) を最初から確認してください。

こんなときは		ご確認ください	処置方法
流すボタンがない		●リモコンに流すボタンを取り付けていますか？	リモコンに流すボタンを正しく取り付ける
作動しない	モーター音がしない	●便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口に根元まで確実に差し込まれていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
		●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
		●リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	モーター音はする	●玉鎖がはずれていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける
		●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	
		●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす (施工手順 5：「便器洗浄モードを設定する」参照)
水の流れが悪い		●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける
水が止まらない		●玉鎖が張りすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける
		●レバーが何かに当たっていませんか？	レバー、ワッシャーを正しく取り付ける

試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。